

7月号



東田布施小
だより

金 声

令和8年7月1日

〈めざす児童像〉
「進んで考える子」
「思いやりのある子」
「たくましくがんばる子」

「考える力」を育むために

学力向上担当 瀬川 聖子

今年も6年生を対象に全国学力・学習状況調査が、国語科と算数科の2教科で実施されました。
今年度の調査結果から、本校児童の学力について次のような傾向があることが分かりました。

国語科

よく身に付いている力

- 漢字を正しく書く・読む力
- 言葉の意味を理解して適切に使う力
- 自由に話したり文章を作ったりする力

これから伸ばしていきたい力

- 目的に応じて読む力
- 読んだ文章を理解したに基づき考える力

算数科

よく身に付いている力

- 整数、小数、分母の等しい分数の数量の大小関係を見比べる力

これから伸ばしていきたい力

- 日常生活の課題を算数的に解決していくための見方や考え方

よく身に付いている力を見ると、宿題として取り組んでいる内容が大きく成果として表れています。多くの児童が家庭学習の習慣が定着していることが覗えます。また、本校児童は、人と話したり人の話を聞いたりすることが得意だということが分かります。どの学年も、授業の中で対話の機会を意識的に取り入れていることもありますが、日々の家庭での会話や地域学習で地域の方とふれあう機会を通して、自分の話を聞いてもらうことの嬉しさを体感しているからこそその結果だと受け止めています。保護者の皆様や地域の皆様のご支援に感謝申し上げます。

次に、これから伸ばしていきたい力については、大きく捉えると「考える力」だということが分かります。まずは、児童が「自分で考える」ことや「自分の考えをもつ」ことが習慣化されるとよいと考えています。

そのため、本校では授業の中で、児童が「あれっ。どうしてかな?」といったん立ち止まって考える時間を大切にしています。教師が「どうして～なの?」「本当に～なのかな?」などと児童に問いかけ、一人がじっくりと考えたり友達の話聞いて自分の考えを整理したりする活動や自分の考えを伝え合う活動等を通して、児童の考えを引き出しているところです。特に今年度は、根拠に即して考える力を養うために、児童が必要な知識や情報を的確に取り入れる方法について全教職員で研究を深めています。また、今年度はチャレンジ目標「ことばを増やそう 毎日読書!」にも示されるように、考える力の素地にもなる語彙力や想像力を高めていけるよう、読書習慣の更なる定着にも力を入れています。

ご家庭でも、お子さんとの対話の中で「どうしてそう思ったの?」「どうしようと思っている?」「〇〇と□□どっちがお得かねえ。」など、お子さんの考えに耳を傾けていただき、自分の考えがもてたことをしっかりと価値付けてください。また、必要に応じて考える視点や方向性を示していただけると更に考える力が養われるのではないかと思います。

これからも本校では、日々の教育活動を工夫や改善し、児童の豊かな学力を育て参ります。保護者の皆様、地域の皆様の変わらぬご支援・ご協力をいただきますようお願いいたします。

引き渡し訓練

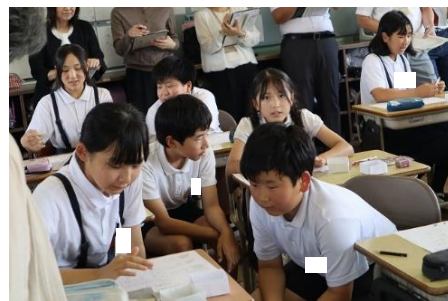
6/10(水)は、町内小中学校合同の引き渡し訓練でした。震度5弱の地震が午前中に発生し、午後にも余震が続くため引き渡しを行うという想定で行いました。保護者の皆様の御協力により今年度もスムーズな引き渡しことができました。ありがとうございました。



「学び合う姿」にほっこり

6/5(金)、6年生で算数の公開授業がありました。授業内容は、円の面積の求積の仕方を説明するというものです。校外の教員等による参観もある中、熱心な眼差しで友達に自分の考えを説明したり、友達の説明を聞き合ったりする子どもたちの様子がとても微笑ましく、ほっこりとする時間でした。

心を許せる友達同士の豊かなかわりの中で、互いに学び合いながら高め合うという理想的な学びの形を、東田布施小学校のよき伝統にできればと思います。



福祉体験(4年生)

4年生は、総合的な学習の時間に「高齢者・障害のある人と共に生きる」学習に取り組んでいます。6/23(火)には車いす体験、高齢者疑似体験をし、障害がある方や高齢者の方の日常生活に目を向け、自分にできることについて考えを巡らせました。

